

文部科学省選定作品

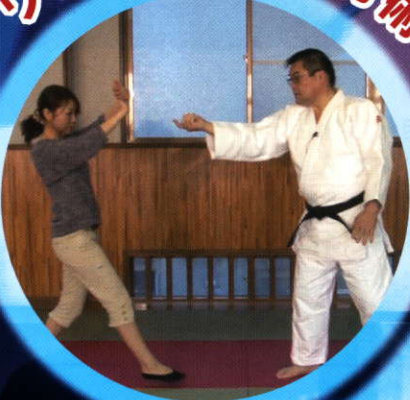
住宅

にいるとき

外出

したとき

ワンポイント護身術



女性を守る 防犯マニュアル

暴漢に襲われたときの対処法を
警察官が解説します。

上映時間 約20分

ビデオ・DVD 50,000円(税別)

企画・制作 鹿児島文化企画

〒892-0816 山下町7-15 平和ビル202

TEL 099(805)1340 FAX 099(805)1341

制作意図

最近では、個人情報の流出から、女性が思いがけない犯罪被害に巻き込まれるというケースが増えています。痴漢、強姦、盗聴盗撮、ストーカーなど女性を狙ったものが多くあります。犯罪事例をあげ、被害にあわないようにするためには、どうしたらよいかを考えるきっかけになることを目的に制作されました。

作品の内容

住宅編

□住む家を決める際の注意点

住む家を決めるのに、通勤・通学などの交通の便や部屋の善し悪しだけを重視せずに見通しがいことや明るいことなど立地条件が重要です。

□自宅での防犯

女性の一人暮らしと知られないために洗濯物を干すときに男性用の下着や洋服を干したり、玄関に男性用の靴を置きましょう。下着泥棒の被害にあわないために下着類を部屋の中に干すことも防犯のひとつです。

□エレベーターでの危険と防犯

密室になるエレベーターは決して安全な場所ではありません。閉ざされた空間で犯罪にあうと逃げることが難しいため防犯が重要になります。

□個人情報の漏洩を防ぐ

捨てたゴミから個人情報を知られないようにシュレッダーを用いたり、個人が特定できないくらい細かく破ってしまう必要があります。

□不振な人を特定するには

同じマンションで同じ階段を使う人の顔や名前ぐらいは認識しておく、不審者と区別できるよになるでしょう。

外出編

□道路での犯罪

普段歩いている道でも考え事をしながら歩いたり、イヤフォンなどで音楽に集中していたりしていると、歩行者や自転車にぶつかる危険があるだけでなく、ひったくりなどの窃盗犯を自ら呼び寄せてしまいます。

□電車内での痴漢の被害

痴漢の被害にあわないために乗り込む車両を予想されない場所で待ったり、乗り込む寸前に乗り込み口を変えるのも防犯のひとつです。車内でも自分の周りをカバンや女性同士でブロックできるようにしましょう。

□自宅周辺での犯罪

自宅周辺のコンビニに財布だけを持ってジャージにサンダルなど、比較的軽装で出かけるとコンビニから自宅が近いことを他の人に知らせてしまいます。利用する時間帯に気をつけたり、服装に注意したりするだけでも効果があります。

ワンポイント護身術

暴漢に襲われたときの対処法を

警察官が解説します。

□まとめ

犯罪から、自分自身を守るためにも、日常の立ち振る舞いにも気を配りましょう。隙を見せないように堂々と毅然とした態度でいることも大切です。どこか、自分の意思をはっきりとして凛とした女性は、犯罪者も近寄りたがいます。